

浜尾遊水地内でセイタカアワダチソウの「水攻め作戦」を実施中
2月28日（月）13：10から現地説明会（報道機関対象）を開催します

近年、阿武隈川の河川敷等においては、外来生物法により特定外来生物に指定されているアレチウリや、要注意外来生物に指定されているセイタカアワダチソウが繁茂し、在来植物の生育や景観に悪影響を及ぼすとともに、これらの生長が生物多様性の保全の観点からも悪影響を与えることが懸念されています。こうした中で、阿武隈川浜尾遊水地内（須賀川市）においてもセイタカアワダチソウが繁茂し、ヨシ・オギ・ススキ等の在来植物への影響等が懸念され始めています。

福島河川国道事務所郡山出張所では、浜尾遊水地に流入する農業用排水を通常以上に増加させ、遊水地内の湛水区域を拡大させることによってセイタカアワダチソウの生育分布域を冠水させる現地実験を昨年1月～3月の湛水実験に引き続き、本年度も12月24日から行っています。比較的乾燥した土地に生える性質を持つセイタカアワダチソウの特徴を逆手にとって「水攻め作戦」を行うことにより、根腐れを助長させ、生育密度や草丈を小さくさせる効果が期待されます。

H 22 年 1 月～3 月にかけて、概ね 1 m の湛水深確保を目指して行った実験結果によると、遊水地内に設置した 6 箇所のコドラート（1 m×1 m の範囲内でセイタカアワダチソウ等の植生分布を調査する単位）のうち、4 箇所のコドラートが冠水、2 箇所が無冠水の条件となるよう設定し、両者を比較したところ、冠水箇所ではコドラート内のセイタカアワダチソウの背丈が約 1 年前（H21 年 12 月と H22 年 10 月の 2 時点比較）と比べて概ね 1～2 割低下している一方で、無冠水箇所では増加していることが判明しています。

これらの取り組みについて、報道機関を対象とした現地説明会を下記により開催しますのでお知らせします。

記

開催日時：平成 23 年 2 月 28 日（月）13：10～（1 時間程度）

集合場所：浜尾遊水地浜尾排水門前（須賀川市浜尾地内）【別添図参照】

持参品：長ぐつ、雨具

郡山市記者クラブ、須賀川市記者クラブ

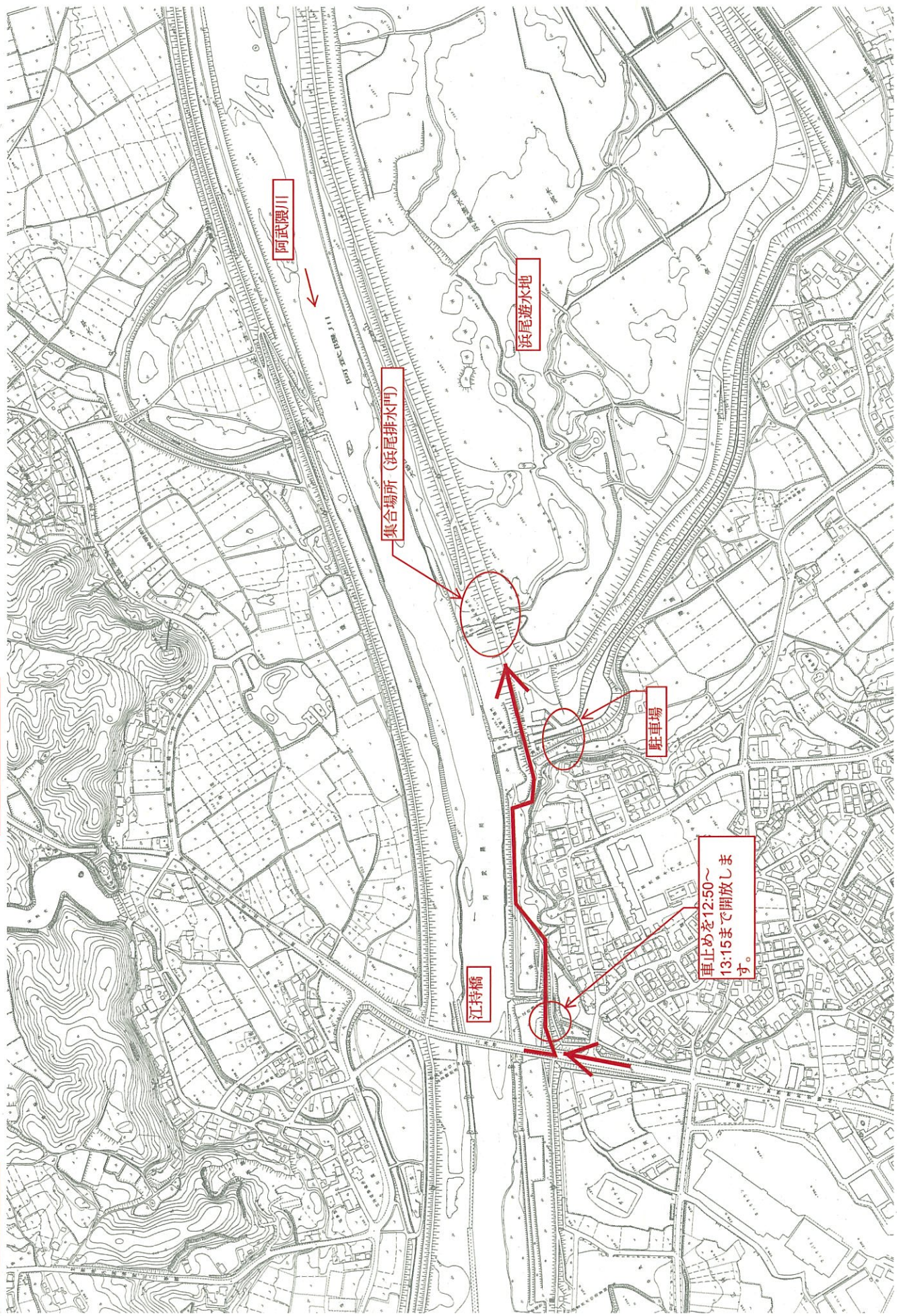
本件に関する問い合わせ先

福島河川国道事務所 郡山出張所長 長内伸夫

電話：024-943-6591

土地説明会の集合場所

至 郡山市田村町



阿武隈川

集合場所 (浜尾排水門)

浜尾遊水地

駐車場

江持橋

車止めを12:50~
13:15まで開放しま
す。

至 須賀川市街地

H21年度の「水攻め作戦」実施概要

図-1 調査位置図



図-2 単位面積当たりの群落高の経年変化

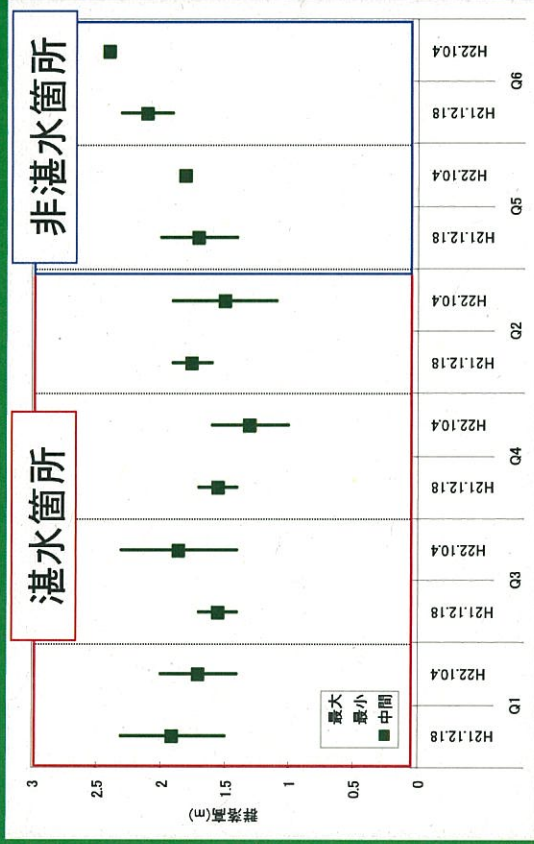
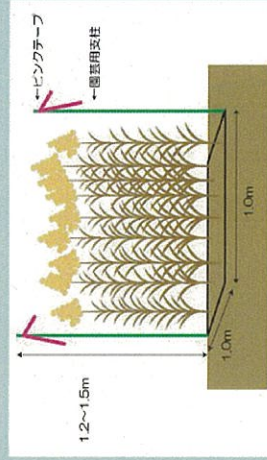


表-1 群落高さ (単位: m)

調査年度	最大			最小			中間		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q1	Q2	Q3
H21.12.18	2.3	1.7	1.9	1.5	1.0	1.2	1.5	1.0	1.2
H22.10.4	2.0	1.4	1.7	1.8	1.2	1.5	1.4	1.0	1.2
H21.12.18	1.7	1.4	1.6	1.5	1.0	1.2	1.4	1.0	1.2
H22.10.4	2.3	1.4	1.9	1.8	1.2	1.5	1.4	1.0	1.2
H21.12.18	1.7	1.4	1.6	1.5	1.0	1.2	1.4	1.0	1.2
H22.10.4	1.6	1.0	1.3	1.8	1.2	1.5	1.0	1.0	1.2
H21.12.18	1.9	1.6	1.8	1.5	1.0	1.2	1.6	1.0	1.2
H22.10.4	1.9	1.1	1.5	1.8	1.2	1.5	1.1	1.0	1.2
H21.12.18	2.0	1.4	1.7	1.5	1.0	1.2	1.4	1.0	1.2
H22.10.4	2.3	1.9	2.1	1.8	1.2	1.5	1.9	1.0	1.2
H21.12.18	2.3	1.9	2.1	1.5	1.0	1.2	1.9	1.0	1.2
H22.10.4	2.4	2.1	2.3	1.8	1.2	1.5	2.1	1.0	1.2

コードラート(区画)模式図



生育状況写真 (H22.11.2撮影)



浸水箇所



非浸水箇所

ロゼット (越冬芽) 写真



水位変動状況 (H21年度・H22年度) 比較

